

14年12月度 野田村仮設住宅訪問報告

2014年12月13日

報告者：福田雅祥（函館美原）

実施日 2014年12月12日（金）

参加者 11名 <八戸>佐藤和子姉、松崎宏子姉、<鮫>林健一牧師、梅田りや姉、鈴木勉兄、鈴木むつ子姉、吉田秀子姉、<青森>佐々木昭正牧師、佐々木ヒロミ姉、柴田須美子姉、<函館美原>福田雅祥牧師

持参品 お菓子（全国各地の教会から提供）、ハンドソープ、コーヒー、お茶など

去る12月12日（金）、40回目となる野田村仮設住宅訪問が行われました。

午前の野田中仮設と午後の泉沢仮設の茶話会では、八戸教会が準備して下さった降誕物語の声劇を、仮設住宅の方々も交えて行いました。そして、「きよしこの夜」や「もろびとこそりて」を、みんなで歌い、クリスマスプレゼントをお渡しし、クリスマスを分かち合うひとときを過ごすことができました。茶話会には、全国各地の教会から、たくさんのお菓子が毎回届けられています。一つひとつの教会の祈りと思いを強く感じます。

茶話会に並行して、門前仮設（約11世帯）と米田仮設（約9世帯）、下安家仮設（約2世帯）には、ハンドソープなどをお届けしました。



野田村では、仮設住宅を出られる方々がかなり増えて来ました。野田中仮設は、建設当初128世帯でしたが、今は73世帯に、泉沢仮設は、30世帯から16世帯になりました。また、下安家仮設は、現在2世帯ですが、この方々の移転先も決まり、近々閉鎖されることとなります。村内では、移転先となる宅地の造成や住宅の建設が、様々な場所で進んでいます。その中でも、規模の一番大きな城内（じょうない）地区高台団地が完成すると、仮設住宅の状況は、大きく変わって行くことでしょう。状況の変化を的確に捉えながら活動を進めて行かなければなりません。今後共お祈り下さい。

次回は、2015年1月16日（金）を予定しています。

